

池子遺跡を科学する

— 2000 年前の池子の人々はなにを食べていたのか —

プログラム

- ・ 杉山 浩平 (東京大学)
「池子遺跡の研究の意義」
- ・ 谷口 肇 (神奈川県教育委員会)
「池子遺跡の発掘から 25 年」
- ・ 佐宗 亜衣子 (東京大学)
「池子遺跡の人々の骨格」
- ・ 米田 穰 (東京大学)
「池子遺跡出土の骨に残る食糧事情」
- ・ 遠藤 英子 (明治大学)
「弥生土器に残る穀物のタネ」
- ・ 白石 哲也 (首都大学東京) ・
中村 賢太郎 ((株) パレオラボ)
「弥生土器に残る「おこげ」の分析」
- ・ 発表者全員による討論
「池子遺跡からみる弥生時代の食生活」



日時：2017年12月17日(日) 午後1時～午後5時

場所：逗子文化プラザ 市民交流センター 2F 会議室

入場無料 (先着 90 名)

お問い合わせ：東京大学大学院総合文化研究科グローバル地域研究機構
F A X 03-5454-6852

E-mail sugiyama@mas.c.u-tokyo.ac.jp

主催：池子遺跡研究グループ 協力：逗子市教育委員会・横須賀考古学会

このシンポジウムは文部科学省科学研究費補助金 挑戦的萌芽研究 課題番号 26560142 の研究成果公開事業として実施します。



地図出典：逗子市ホームページ